



TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT

THE Y M C A MEN'S CLUB OF NARA

C/O NARA YMCA, 2 Saidaiji Kunimi-cho, Nara Japan Tel. 0742-44-2207

CHARTERED SEPT. 14TH. 1950

ホームページ: <http://uchidakaikei.com/narawaizu/index.htm>

国際会長主題: 「輝かそう、あなたの光を」

'Let Your Light Shine'

アジア会長主題: 新しい時代とともにエレガントに変化を

Elegantly Change With New Era

西日本区理事主題: 原点を知り将来に生かす

Know the origin and utilize it in the future!

阪和部長主題: 10年後の阪和部へ。つなげる。～経験を生かし、目線を活かす～

会長: 四本 英夫

副会長: 中井 信一

副会長: 水田 典男

書記: 熊巳 由佳

会計: 平井 洋三

副会計: 水田 典男

直前会長: 山口 ルミ

ネット代表: 内田 彩子

3月
2023年

ブリテン
編集委員

高田 嘉昭

熊巳 由佳

中井 信一

林 佑幸

平井 洋三

クラブ会長標語: 「未来を考え、今日から行動」今できることをやり遂げましょう

Thinking about the future, taking action today. Let's do what we can do now

3月例会

日時 2023年3月4日(土) 18:30~20:30

場所 あきしの保育園ホール

<プログラム> 司会 平井 洋三メン

1. 奈良クラブの歌 [今、心は少年少女]

2. 開会点鐘 四本会長

3. ワイズソング

4. 聖書・祈祷

5. ゲスト・ビジター紹介

6. 入会式

7. 卓話 講師: 上島 博様 (絵本製作者)

テーマ: 「『たすけて!』は生きぬくため

8. 誕生日のお祝い の合言葉

9. Y M C A ニュース

10. インフォメーション

11. Y M C A の歌

12. 閉会点鐘 四本会長



月間強調テーマ

CS

Menettes

今月の聖句

「あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい」

(マタイによる福音書5章16節)



奈良基督教会副牧師 司祭古本みさ

トルコ・シリア大地震によって犠牲となった方々の魂の平安、被災された方々、支援活動をしておられる方々のためにお祈りいたします。ロシアによるウクライナ侵攻も一年を過ぎました。心が痛むニュースが多く、暗い世の中を憂います。神さまはどこにおられるのだろうか。どうして何もしてくれないのだろうか。そう思わずにはいられません。心のどこかで神さまが助けてくださらないのはおかしいと考えてしまうのです。しかし、聖書は奇跡を起こすよう呼びかけられているのは私たち自身であることを教えます。ちっぽけな私一人にできることは限られているけれども、こういう時こそ、皆がそれぞれ神さまから光を与えられていることを思い起こさなければなりません。いつの日か、私たち一人ひとりが他者のために輝かせる光が世界を包み、神の愛と平和が実現しますように、祈りつつ、小さな一歩を踏み出しましょう。

2023年2月度クラブ統計

在籍会員	19名	メネット	1名
出席会員	12名	コメント	0名
(除、広義会員)		ゲスト	3名
メキップ	Z・1名	ビジター	3名
出席率 (12+Z・1)/18名	72.2%		

ニコニコ献金

2月度: 11,910円

累計: 577,772円



例会 3月 4日(土) 18:30~20:30 あきしの保育園

役員会 3月27日(月) 19:00~21:00 奈良YMCA

出席第一・親睦・協力奉仕



会長通信

会長 四本 英夫

皆さま、こんにちは、四本英夫（よつもと ひでお）です。

今回は、以前にも記載しましたが、SDGS の12番目の目標「作る責任、使う責任」に関して「サーモン」をテーマに取り上げます。先般NHKでも放送され、「NHK 国際ニュースナビ」にも掲載されましたので、そのWeb記事を引用します。

(https://www3.nhk.or.jp/news/special/international_news_navi/articles/feature/2023/02/13/29106.html)

サーモンが、世界的な寿司人気を背景に、今、世界で奪い合いが起きていますが、その一方で、サーモン生産を支える養殖に「待った」をかける国もあるとのことでした。

なぜ、サーモンが人気かという点、欧米などの先進国に加え、東南アジアや中南米でも日本食レストランが増加していますが、サーモンの他に生で食べられる魚が少ないため、需要が飛躍的に高まっていると水産物の流通に詳しい専門家は話しています。

南米のチリは、ノルウェーに次いで世界2位の約100万トンを生産しており、日本の輸入量の内6割を占めるそうです。チリの中でも南部に位置するプエルトモン市とその周辺には、稚魚を育てる淡水の施設や、沖合に広がる巨大な養殖場、サーモンを食品加工する工場などが集中しています。今やチリは、サーモンの輸出大国ですが、実は以前、南半球のチリにはサーモンは一匹も生息していませんでした。約50年前、ノルウェーとよく似た入り組んだ海岸と、栄養豊富な海流がサーモン養殖に適していると考えたチリ政府が、日本に支援を依頼し、日本の養殖技術者がチリへ赴き、初めてサーモンを持ち込んだそうです。こうして、日本の支援によりチリの養殖産業も成長していきませんが、この間、サーモンの養殖に悪影響を与える赤潮が発生した際は、日本から技術支援を行って赤潮対策にも取り組んだそうです。

一方で、去年、「環境保護」などを公約に掲げた左派のボリッチ大統領が就任し、サーモン養殖が環境負荷を高めているとして、規制を打ち出しました。実はボリッチ大統領は、養殖が盛んな最南端のマガジャネス州の出身で、議員時代から養殖産業を批判し、是正を求めて活動してきました。ボリッチ大統領がサーモン養殖に反対する理由は、サーモンが生けすから大量に脱走した結果、外来種であるサーモンが絶滅危惧種などの固有種の魚を食べ、生態系へ深刻なダメージを与えているからで、「サーモンの野生化」も問題になっています。さらに養殖事業者が利用したブイやホース、サーモンの餌やふんが海底に堆積して水質汚染の原因になっているとの報告もありました。また、先祖代々守ってきた神聖な海が汚されることは、彼らの存在の一部が破壊されているようで、精神的なダメージは非常に大きいと、先住民族のリーダーがインタビューに答えています。

こうした中で進んでいるのは、養殖事業者による「ASC認証」取得の動きです。ASC認証は国際的なNPOが始めた取り組みで、サーモンの脱走、抗生物質の使用量、水質など、定められたすべての基準を満たした養殖場にのみ与えられる認証です。環境対策や認証取得に多大なコストと労力がかかるものの、「もはや環境保護対策なしでは会社が生き残れない」状況です。雇用を増やし生活レベルの向上に貢献する一方で、環境問題や先住民族の人たちとの共生など、目先の生活と環境問題のバランスは、あらゆるところで解決すべき喫緊の課題となっています。食卓に乗ったサーモンをきっかけにSDGSについて考えていきましょう。

今年も早いもので2月中旬。少し時間ができましたので、今年の年賀状数百枚を眺めていて気になったことがあります。それは、私の同年又は後輩にあたる方々の年賀状。毎年送っていただいています。そんな中に「今年傘寿を迎えますのを機に年賀状を今年限りで失礼させていただきます」とか、「寂しいですが、高齢ということでお許しいただき、次年度より年始のご挨拶を失礼させていただきます」とか、「恐縮ながら高齢となり、来年より年賀状でのご挨拶を失礼させていただきます」と存じます。などなど。いずれにしても、年賀状をやめるという内容の年賀状を十数枚頂きました。これが、コロナ感染症の影響なのか、お正月の風習が変わっていくのかわかりません。私も親愛幼稚園の理事長を長年つとめさせて頂きました。理事長の年齢制限はありませんが、80歳になりますと自発的にお辞めになれる習慣になっておりました。私も80歳で辞める話をいたしましたところ、当時の園長が「もう1年で退園するので、それまで続けてほしい」とのことでした。それで辞められるものと思っておりましたが、次の園長が「少し慣れるまで辞めないでほしい」と言われ、「それでは1年だけ」との約束をいたしました。ところが、コロナ感染症の拡大等のアクシデントで、もうしばらくということになり、85歳になってようやく辞めさせていただきました。

YMCAでも長年理事、理事長を務めてまいりましたが、法人制度が変わり、総主事が代表理事を務めることになり、その後は会長という立場で今に至っています。神崎総主事が就任された時が一区切りで、会長を辞めさせていただくようお願いいたしましたところ、「ボランティア活動に年齢制限はありません」と一蹴されました。確かに自身にボランティアをする気持ちはありますが、役職は若い方々で共有して頂いた方がよいのではないかと考えております。

また年賀状の話題に戻りますが、ワイズメンズクラブの皆様からの年賀状もたくさんいただきました。皆様ワイズメンズ活動が本当に大好きで、ワイズメンズ活動に取り組んでおられる皆様には頭が下がります。西日本区理事として、〇〇クラブ会長として、西日本区〇〇事業主任として、〇〇委員長として、〇〇部長として等、各クラブの奉仕に励んでおられるわけですが、「YMCAサポート、地域奉仕などの活動において神様のみ旨にかなった働きが出来ますように」と神に感謝されている姿を見るにつけ、私もまだまだ頑張らなきゃと思うところです。

★苗字【林】を昔の【北林】に戻します★

北林 成子

林秀彦の祖父が【北林】から【林】に改名し、林秀彦の父が大学生の折に姓が、【北林】から【林】に代わりました。林秀彦は生まれながらの【林】で現在に至っておりますが、先祖は【北林】の為【北林】【林】の両方の墓地や墓石を守ってきました。

5~6年前から 息子が全面的にお墓の掃除をしてくれるうち、苗字が二つ有り墓地や墓石が二つ有ることに疑問を感じ、いろいろ調べ お寺さんや様々な人に話を聞いたそうです。これらの事情を分かっている人が生きていた間に整理をしないと、事情が分からなくなってしまう、先祖【北林】をしっかり守っていけない。と思った息子から相談を受け【北林】の先祖が【林】の先祖よりも圧倒的に多いことから【北林】に姓を戻すことに意見がまとまりました。

弁護士さんに「姓を戻すことはできるが、4～5年かかる、世間の皆さんが周知して下さらないと変えられない。」と言われた為、早速 昨年後半より【北林】の通称名を使用いたしております。息子は、林秀彦が生涯の大半を過ごし、世間に周知してもらっているのに、戻す事に賛同してもらえたことに申し訳なく、感謝しています。何より継承してくれる息子が、家の事 先祖の事を考えてくれることが嬉しく、自然な神様 仏様のお導引きだと深く感謝しています。

★東西日本区交流会に参加して★

中井 信一

2月4日、5日に開催されました『第3回 東西日本区交流会』（語ろうワイズの未来！ともに手を取り次の100年へ）に参加致しましたので、報告致します。当初、濱田ワイズも参加予定でしたが、前日に体調を崩されたので奈良クラブからは小生のみ参加となりました。約430名の参加者があり、美味しい食事頂き、旧知の仲間や新しい出会いもあり、有意義な2日間になりました。特に印象に残りました4点に関し、お伝え致します。

1) 「奉仕活動団体フォーラム」：開会式の前に2時間、開催されました。各団体から2名のパネリストが参加。ライオンズクラブ、国際ロータリー、国際キワニス、我々ワイズからは田上理事、上村書記がしっかりと発言されました。他3団体の活動報告、悩み等の発表が有り、大変参考になり、今後も情報交換する旨、話し合われました。

2) 「語ろうワイズの未来」：2日目の朝、約1.5時間の限られた時間でしたが、東西日本区から両理事、それぞれ3名のパネリストが様々な角度からお話を頂きました。パネリストには元ユースリーダー、それ以外の方が半々で、ワイズに入ったきっかけ、EMCのヒント、ワイズの未来等々、貴重な体験談も交え、小生には沢山の活動のヒントも頂きました。3) YOUTH ACTION 2022:ユースリーダー（高校生を含む）の昨年様々な活動の発表が有りました。4) 前原ワイズ/御殿場クラブ、橋爪ワイズ/名古屋東海クラブとは、懇親会で同じテーブルにてプチ交流を行いました。DBCクラブとは極力同じテーブルになる様な仕掛けがされていました。両クラブ共にコロナ禍で活動も苦勞されていましたが、9月には出来れば東山荘で3クラブが再会出来ればと話し合いました。ご報告申し上げます。



前原ワイズ/御殿場クラブ、橋爪ワイズ/名古屋東海クラブと一緒に



★新入会員のご紹介★

上地 信親

2023年2月より奈良ワイズメンズクラブに入会させて頂いた奈良YMCA総主事の上地 信親と申します。皆様もご存じの通り、奈良YMCAは奈良ワイズメンズクラブのご尽力により設立されたYMCAです。YMCAに繋がる皆さんが誇りを持ち、幸せな気持ちになり、奈良にYMCAがあって良かったと思っただけのように、奈良ワイズメンズクラブと共にこれからも歩いていきたいと思っています。今後ともよろしくお願いたします。

趣味は愛犬（黒ラブラドル）の散歩とスポーツ観戦、映画鑑賞、スキー、色々なカタログを見る。



YMCAだより3月

担当主事 村上 一志

2020年にパンデミックとなったコロナウイルス感染症ですが、約3年が経過し、ようやく、5月8日に季節性インフルエンザと同じ5類への引き下げが決まりました。これにより、社会情勢が大きく変化する可能性があります。YMCAとしてもしっかり対応していき、多くの方が変わらず安心してYMCAに来てくれるように日々取り組んでいきます。また、奈良YMCAでは2月22日（水）から28日（火）まで、「ピンクシャツウィーク」を実施します。社会全体がいじめに対して『自分ごと』として向き合う事、そして被害者と加害者以外の立場にいる人が『傍観者にならないこと』が、傷つけ合うことのない平和な社会につながっていく、と私たちは考えます。一人ひとりが勇気をもって、『自分ではない誰かのために』、そして自分たちのために行動しませんか。YMCAはそのようなポジティブで前向きな『よくなる』の連鎖を大切にします。いじめに対しての想いを写真や動画でメッセージを発信していきたいと思っています。この取り組みがイベントとして終わるのではなく、いじめのない、公平で平和な世界の実現を目指す為に、私達は活動を続けていきたいと思っております。

皆様もご協力よろしくお願致します。

★3月例会 卓話者プロフィール★

卓話者：上島 博 様

(小学校教員、子どものレジリエンス研究会代表)

テーマ：「『たすけて!』は生きぬくための合言葉」

プロフィール：大学時代は奈良YMCA野外活動友の会リーダー

元県内公立小学校教諭、定年退職。現在、小学校非常勤講師

教員の自主サークル「子どものレジリエンス研究会」主宰 ※レジリエンス……精神的弾力性（回復力）

資格……公認心理師、保育士、子ども支援士

主著：「たすけ合い体感ゲーム」2021 合同出版

「イラスト版子どものレジリエンス」2016 合同出版

「子どもの『こころの力』を育てるーレジリエンスー」

(共著)2009 明治図書「レジリエンス絵本『四本の木』」

(共著)2017 子どものレジリエンス研究会「あなたとつ

くる心の絵本『ヤドカリの物語』」(共著)2018ブイツー

ソリューション「うそつきパディ」(共著)2019 子どもの

レジリエンス研究会

2月例会報告

林 佑幸

日時：2023年2月11日（土）18：00～20：00

場所：あきしの保育園

卓話講師：(株)をくだ技研 取締役 奥田 暢子 様

2月例会は、久しぶりのホームグラウンド「あきしの保育園」で開催することが出来ました。参加者はメン・ウィメン10名、メネット1名。ゲストは、卓話講師の奥田暢子様、入会予定者の上地信親様、木下修平様、リーダーOBの西口善規様、増田陽一様 の5名。ビジターは阪和部から部長 正野忠之様、EMC主査 寺岡博也様、神戸ポートクラブ副会長 大野勉様の3名で合計19名の参加となりました。今月の卓話は「TSUNAGARU」のテーマで奥田様からお話をお聞きしました。奥田様はいくつかの企業の経営に参画され、奈良と関わりある事業も推進されておられ興味を引く話題を提供してくださいました。

次に入会式が正野忠之阪和部長様の司式により執り行われました。当初3名の予定で有りましたが、予定者の島村知歩様は所用のため参加できず、今回は上地信親様、木下修平様、のお二人となりました。お二人は「入会式式文」をお聞きになり、大きな声で「入会します」と宣誓され、参加者一同は盛大な拍手で入会を歓迎いたしました。

続いて、式辞に沿ってプログラムは順調に進み定刻8時に会長は閉会の鐘を点かれて例会は終了しました。



<協議事項>

- ①献金方法について（3月15日納付期限）
 - ・11/23日の第2例会で承認済の財政基盤強化方針に基づき、個人献金とする。
 - ・目的（大きな出費項目）：①HPの開発・維持費用の捻出、②YMCAへの活動補助の維持
 - ・【献金の制限（～2025/6まで）】→BF献金（1,500円/人）を除き、クラブ会費からの献金は休止。
 - ・具体的な個人献金の方法→区の要請8項目のいずれかを選択（複数可）の上、シートに項目と金額記載、現金と共に会計担当に手渡す。会計担当から区献金と共に振込。→年間1回、1～2月に公募、3月の区献金と共に振込。→献金者名と献金額は、クラブ内には非公表。なお、献金額の目安は、参考として公表。→3月4日例会欠席の献金希望者は平井氏へ連絡。

<確認事項>

- ①3月例会
 - 日時：3月4日（土）18:30～（保育園の場合）
 - 場所：あきしの保育園
 - ・卓話者：上島博様 テーマ：「『たすけて!』は生きぬくための合言葉」
 - ・入会式の件（島村様）
- ②4月例会
 - 日時：4月8日（土）18:30～（保育園の場合）
 - 場所：あきしの保育園
 - 卓話者：谷村博久様（大阪回生病院 副院長 消化器センター長）
 - テーマ：「胃がんの原因何カクターヒト菌について一健診で胃カメラはするべきかー」

③5月例会

日時：5月13日（土）18:30～（保育園）
卓話者：YMCAリーダーの方向で打診。

④6月例会

日時：6月10日（土）西日本区大会と重複のため、6月3日（土）への変更決定。

⑤「ボランティア活動保険への継続加入・追加承認について」

4月1日に更新決定。21名対象、550円/人。事故の際、書記まで報告。

<報告事項>

- ①2月18日の評議会開催報告
 - ・ロスターの電子化・ワイズの法人化→西日本区での協議へ。
 - ・長野クラブ→阪和部報への内容・発行タイミングへの要望あり、継続検討。
- ②YMCAからの報告事項 国際協力募金反省会3/2(Zoom)
- ③HP作成PT 進捗報告と今後の作業日程
- ④3月例会以降、お弁当代1000円徴収。（実費との差額は一般会計に繰り入れる）

<イベント日程>

- ①3月11・12日：ア) 次期会長・主査研修会（下記イに伴い、中井ワイズ欠席）
イ) ワイズ100周年@台湾（中井ワイズ出席予定）
ウ) 台南クラブ宛おみやげの手配を実施。
- ② 6月9・10・11日：西日本区大会@熊本



3月 Happy Birthday



29日 濱田 勉



3月行事予定



- | | | |
|-----|-----|-------------|
| 1日 | (水) | 大阪長野クラブ例会 |
| 4日 | (土) | 奈良クラブ例会 |
| 4日 | (土) | 和歌山紀の川クラブ例会 |
| 7日 | (火) | 大阪サウスクラブ例会 |
| 16日 | (木) | 和歌山クラブ例会 |
| 16日 | (木) | 大阪河内クラブ例会 |
| 23日 | (木) | 大阪泉北クラブ例会 |
| 27日 | (月) | 奈良クラブ役員会 |